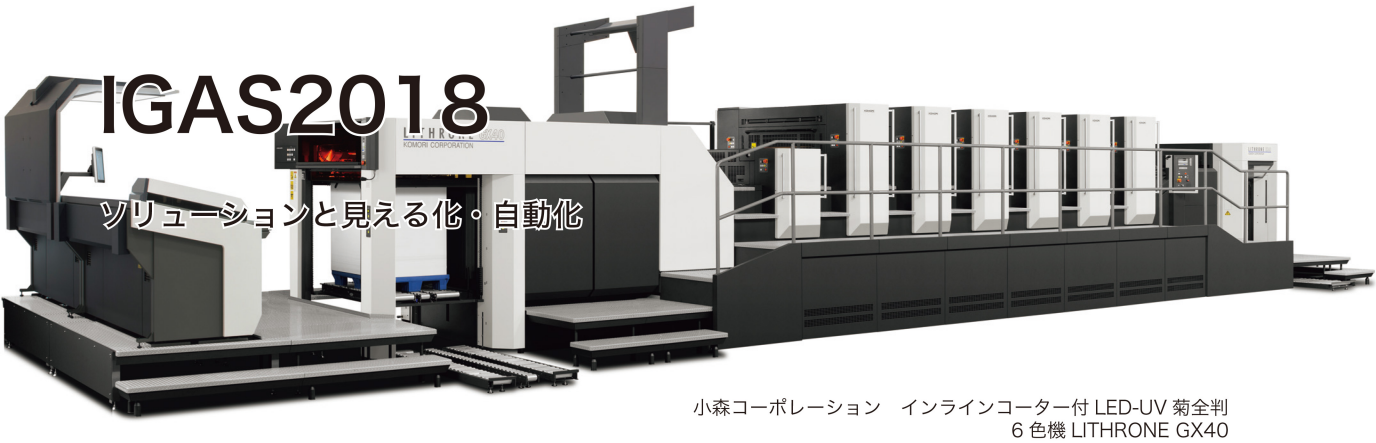
IGAS2018

ソリューションと見える化・自動化



小森コーポレーション　インラインコーター付 LED-UV 菊全判
6 色機 LITHRONE GX40

国際印刷資機材展「IGAS2018」が 7 月 26 ～ 31 日，有明の東京ビッグサイトで開催される。主催は日本印刷産業機械工業会とプリレス＆デジタルプリンティング機材協議会。

出展情報を見ると，キーワードは（製品・技術より）「ソリューション」，見える化，自動化（省人化）である。「自社（印刷会社）は顧客の課題解決会社になる」とある印刷会社の社長が言っていたが，大手メーカーは印刷機メーカーや CTP メーカーという単純なものでなく，印刷会社の生産性向上のための，機械・材料とサービスとプロデュース的な会社の方向になっている。
（IJ：インクジェット，WF：ワークフロー，S ℓ：ソリューション，DM：ダイレクトメール）

小森コーポレーション

出展社最大の 2205㎡で，現在 250 台以上の機械と接続し，稼働状態や稼働集計など生産状態の見える化を図る KP-Connect を起点とした，顧客の課題解決を図る S ℓ を提案する。

小森コーポレーション　プログラム油圧クランプ断裁システム
Apressia CTX132

KP-Connect Pro はスケジューラー機能と生産実績をリアルタイムで見える化する機能によって，全ての印刷工程をデジタルで管理できる「工程をつなぐミドルウェア」。MIS，プリプレス，プレス，ポストプレスを KP-Connect Pro で自動連携し，デジタル工程管理と自動化によって印刷工場のスマートファクトリー化を推進する新しいコンセプト「コネクテッド・オートメーション」を見せる。

インラインコーター付 LED-UV 菊全判 6 色機

小森コーポレーション　菊全判寸延自動平盤打抜機 Apressia DC105（上），ブランキングシステム Apressia MB110E（下）

LITHRONE GX40 はパッケージ印刷や特殊印刷用で 0.06 ～ 1.0mm の紙厚に対応。「アニロックスチェンジャー」は内部に最大 4 本のアニロックスローラーを搭載でき，重量物であるローラーの交換作業を自動化する。

LED-UV 菊全判両面専用 8 色機 LITHRONE GX40RP は両面ワンパスを最高印刷速度 18,000 回転で稼働。品質管理，色調制御，自動版見が可能な PQA-S V5 を搭載。刷り出し時には PQA-S V5 が色調と見当を自動で判定し，試刷り作業を効率化する。

デジタルカッティング & クリーシングシステム Highcon EUCLID は，木型製作やセットアップ作業が不要。最大毎時 1500 枚処理，ラベル用紙・板紙・マイクロフルート（最大 1.2mm 厚）なども可。

プログラム油圧クランプ断裁システム Apressia CTX132 は，断裁工程の自動化を図る。

菊全判寸延自動平盤打抜機 Apressia DC105 は，パッケージの生産効率向上に適したプラテンタイプのベーシックマシン。ストリッピングステーションは給排紙・打ち抜き・カス取りの構成。

ブランキングシステム Apressia MB110E は，手作業で行われることの多いむしり（ブランキング）工程を機械化し，1 ジョブで最大約 200 シートを一度にブランキングする。

ミヤコシ

輪転水性インクジェット印刷機 MJP20AXW は，IJ ヘッドの改良により，トランザクションに加え，書籍，商印，DM 市場でも新たなビジネスチャンスの創出を提案できるようになった。微小文字，細線に加え，画像や写真の再現性を向上させた。また，吐出周波数の高速化により，高速化・大量出力への対応も可能とした。1200×1200dpi の画質で，毎分 200m の印刷ができる。印字品質と用紙適応性を引き上げるインラインコーターを搭載し，幅広いメディアに対応。

軟包装向け水性インクジェット印刷機 MJP30AXF は技術展示。環境配慮をコンセプトに 1200×1200dpi の品質で，印字幅は 750mm まで対応。対象基材は，12 μ の薄手のフィルムから厚手のハードパッケージまでで，インラインコロナと印字品質と基材適応性を引き上げるインラインコーターを搭載し，幅広いメディアに対応。KCMY+WW の構成で，毎分 100m の印刷。高濃度と食品安全を実現する水性顔料インクを使用し，食品関係製品を含む軟包装パッケージの少量多品種をサポートする。

ミヤコシ　輪転水性インクジェット印刷機 MJP20AXW（上），ラベル用オフセット間欠輪転機 MLP10L（下）

MLP10L は，ラベル用オフセット間欠輪転機 MLP シリーズの新型機。従来のシリーズで評価を得ている見当精度を継承したまま，機械の小型化と低価格化に成功したエントリーモデル。増えつつあるオフセットニーズに対応する。ユニット構成は，給紙＋オフセット 5 ＋フレキソ＋ダイロール＋カス上げ＋巻で，近年増加傾向にある変形カス上げの実演を行う予定。

ホリゾングループ

協業各社との WF を軸に，デジタル印刷物を効率的に加工するシステムとして巻取紙から折り，製本，三方断裁で本に仕上げる，巻取紙から中綴じを完成させる，枚葉紙から中綴じが完成する，などの実演を行う。折りでは，四六半裁判のシリーズを中心に，菊全判からの 16 ページ折りを主